

将来に備える教育

教育委員 高橋 雅樹

教育委員を拝命して 4 年、入学式や卒業式等の公式行事への参加、また教育指導主事による学校訪問への同行、先生方の教育研究大会・集会への参加、毎月配布いただく各小中学校の「学校だより」を拝見するなど、様々な機会をいただく中で教育の現場を見る目を養いながら勉強させていただいております。もちろん、学校に常勤しているわけではないのでそのすべてを掌握することなど出来ないわけですが、我が子が通っている頃の保護者としての視点、PTA 役員として学校に関わっていた頃の視点も加味しながら現在の教育実態をしっかりと考察できるように心がけております。現場を知れば知るほど、各校校長先生のリーダーシップのもと熱血漢の若手教員や経験豊富な中堅教員の皆様方、現代特有の煩雑な事務庶務に追われながら日々奮闘されている教頭先生により、誠心誠意学校運営が取り組まれていることに、心より労いと敬意と感謝を申し上げる次第です。

いつの時代も「今の教育ではダメだ、足りない！」と言われ続け、その時代の求めに応じ時の教育指針は見直され修正が加えられてまいりました。戦後 70 有余年の社会情勢は上昇から衰退、混沌の時代へと変化し、子ども責任世代も先行きに明るい見通しも立てられず、適切な対応準備がとれないまま次世代に引き継がねばならないと、私のような末端の庶民でも自責の念を感じずにはられません。

これからの子供たちは私たちが育ち生きてきた時代とは相当違った価値観の社会を、多種多様な地域事情を背景としながら、安易に前例踏襲しない問題解決能力をもって生きていくことになるでしょう。大人になった時どのような考え方が出来るようになればいいのか？ どのような知識活用能力が養われればいいのか？ 本人含めまわりの関係する人たちと共に幸せ実感できるような生活力を身につけさせるにはどうしたらいいのか？ とにかく将来困らぬよう充実した成長の時間としてその青少年期を過ごさせてあげられるように本市の教育をさらに発展・充実させて行かねばならないと考えております。

「教育とは、理想を語り、理想を求めること」これが私の信条、考え方の根幹です。決して教育の専門家ではありませんが、独自の目線で引き続き教育委員の職務を果たしてまいりたいと考えておりますますので、微力ではありますが今後ともよろしくお願い申し上げます。